

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミB	単位認定	1	園田 雪恵
<p>【授業のテーマ及び到達目標】授業のテーマ: 保育の実践ユニット</p> <p>手袋シアターは、カラー軍手を用いて簡単に出来る手作り教材である。保育者の愛情や温かみが子どもに伝わり、演じることにより子どもと心をかよわせることができる。授業では手袋シアターの作成と演じる保育技術を修得し、保育者としての資質を身に付けることを到達目標とする。</p>			
<p>【授業の概要】</p> <p>半期で、手袋シアターの作品を2つ仕上げ、その作品についてのレポート(1000字程度)を提出する。授業計画は、作成例として載せているため、個々の題材により作成過程は変わってくる。手袋シアター作成後は、保育者役となり、ゼミ生を子どもに見立てて行う手袋シアターの発表がある。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
1. オリエンテーション・ゼミ訪問1. 2			
2. ゼミ選択・講義開始(オリエンテーション)			
3. 手袋シアター①の作成計画			
4. 手袋シアター①の背景を作成(お弁当箱)			
5. 手袋シアター①に付ける小物を作成(おにぎり・しょうが・ごま塩)			
6. 手袋シアター①に付ける小物を作成(ニンジン・さくらんぼ・ふき)			
7. 手袋シアター①の仕上げ: 手袋の指の部分と作成した小物にマジックテープを縫い付ける。			
8. 手袋シアター②の作成計画			
9. 手袋シアター②の背景を作成(クレパスの入れ物)			
10. 手袋シアター②に付ける小物を作成(赤クレヨン・青クレヨン)			
11. 手袋シアター②に付ける小物を作成(黄色クレヨン・緑クレヨン)			
12. 手袋シアター②の仕上げ: 手袋の指の部分と作成した小物にマジックテープを縫い付ける。			
13. 手袋シアター①②の発表(2年生の発表)			
14. 手袋シアター①②の発表(1年生の発表)			
15. 手袋シアター①②のレポート作成・発表			
<p>【準備学習の内容】</p> <p>予習のあり方: 手袋シアター作成の準備をしておくこと。指定された期日までに完成できるように、進行状況により授業以外でも作成し演じる練習をしておく。</p> <p>学習のあり方: 授業中は、作業に徹し、期日までに完成できるよう計画性をもって作成すること。また、実習現場を想定し、子どもに対する表現方法を検討すること。</p> <p>復習のあり方: 手袋シアターを演じる練習を繰り返し行い、保育にいかせるようにする。</p>			
<p>【成績評価】</p> <p>手袋シアター2つの成果物(30%)・レポート1000字(20%)・手袋シアターの発表(50%)で、総合的に評価する。</p>			
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>手袋シアターの発表及びレポート発表の回で、自分自身の振り返りと、他のゼミ生の発表の評価を行なう。</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>資料は、適宜配布する。</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>amiko『保育で使える! ワクワク手袋シアター』ナツメ社</p>			